

所変われば常識変わる

ヨーロッパ産の ミネラルウォーター

今、日本でもヨーロッパのエビアンなどのミネラルウォーターが販売されている。アルプス山麓で詰められたミネラルウォーター…:というところ、いかにもミネラル分が多くて健康的…?

ヨーロッパの 水道は硬水

でも、ヨーロッパでは事情が違う。アルプスに降った雪が融けて地下を流れ沢山のミネラル分を溶かし込む。それがイタリアのミラノの水道の水源。

だから水道水はミネラルが多い硬水。お湯を沸かすとヤカンに石灰が溜まる。慣れない人が呑むとおなかをこわす。そこで、雪融け水をア

ルプスの麓でくみ上げたのがミネラルウォーター。麓なのでまだミネラル分は多くない。

かくして、ヨーロッパではミネラル分が少ないのがミネラルウォーター。

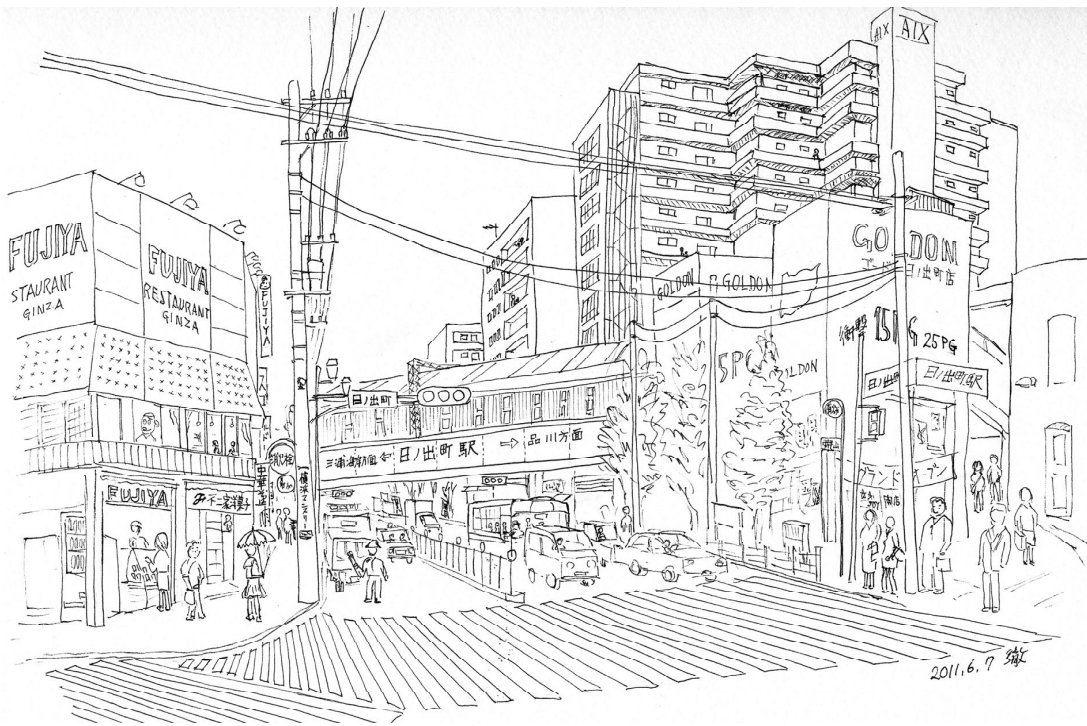
日本は軟水

日本は山が急なので降った雨は素早く下流に運ばれるのでミネラルが少ない軟水。本当はおなかに良い。

昔は多摩川下流で取水した水がもとでカシンベック病が発生。カビ臭などで水道水が嫌われた。しかし、今は水源も良くなりオゾンによる水処理で水道水も遙かに旨くなったとか。

燃料を使い、プラ容器を使い、海外から水を運ぶべきなのかなあ?

京浜急行 日ノ出町駅前



京浜急行の日ノ出町駅前には吉田勘兵衛が江戸時代初期の明暦二年(一六五六年)に新田を開発するまでは、大きな入江であった。

これを描くために立った場所は、当時の浜だったのだろうか?

往時の入江の真ん中は今は伊勢佐木町商店街。歩行者天国で並木あり、ベンチありで大変賑やかである。一方、駅の裏手の方は野毛山で、動物園、市立図書館があり、ちよつと足を伸ばすと紅葉坂に県立音楽堂、青少年ホール、能楽堂などもある。

駅の向かいの不二家には喫茶店もあって子供連れで賑わっていたが、みなとみらいの出来た今はどうなのだろうか?